

第1回 2023年9月30日（土）10：30～12：00

コード：5102A

気候危機と地域防災

気候変動による日本付近の平均海水温の上昇は、台風の大規模化、線状降水帯による豪雨、線状降雪帯による豪雪など、さまざまな影響を及ぼしつつある。島国日本のあらたな脆弱性が浮かび上がりつつある。気候危機のメカニズム、影響とともに、気候危機に対して政府・地方自治体・市民としての私たちが取り組むべき課題を考察する。



総合人間科学系 社会部門
特任教授 長谷川 公一

第2回 2023年10月14日（土）10：30～12：00

コード：5112A

生活の中の防災—東日本大震災で失ったものは何か—

東日本大震災により、私たちは多くのものを失った。失った有形無形のものの中にはどんなに願っても戻らないものが多く存在する。そこで本講座では震災後、岩手・宮城・福島県で行った避難所、仮設住宅での暮らし、復興過程などの調査結果をもとに、一人でも多くの方が減災対応できるように、日常生活の中で減災での備え、地域での復興支援などについてご紹介するものとする。



総合人間科学系 人文部門
教授 久慈 るみ子

第3回 2023年10月28日（土）10：30～12：00

コード：5122A

人口減少時代の災害とコミュニティ

近年、災害が多発し、大規模災害の発生も危惧されています。そのなかで、災害への対応に関してコミュニティへ期待が集まります。しかし、人口減少や少子高齢化のなかで、コミュニティがすべて対応することが難しくなりつつあります。この講座では、人口減少時代のなかでコミュニティがどこまで災害に対応することができるのか、考えてみたいと思います。



総合人間科学系 社会部門
准教授 高木 竜輔

第4回 2023年11月11日（土）10：30～12：00

コード：5132A

災害とエシカル消費

エシカル消費とは、人や社会、環境に配慮した消費行動のことで、よりよい社会に向けた誰にでもできる社会貢献のアクションとして注目されている。自然災害が多発する中で、様々な応援消費や備蓄など買い物の仕方に関心が高まっている。この講座では、消費者一人ひとりが持続可能な社会の形成に寄与するという視点から、私たちが何を選択し、購入するかについて考える。



総合人間科学系 社会部門
教授 渡邊 千恵子

会場：尚綱学院大学地域連携交流プラザ（イオンモール名取 あおばコート3階）

定員：各回20名

受講料：無料（要申込）

▶申込期間：2023年8月21日（月）～9月1日（金）17:00 ※受付期間前の申込は無効

▶申込方法：E-mail、FAX、郵送の場合は以下をご記入の上、お送りください。

- ①氏名（フリガナ） ②生年月日 ③年齢 ④性別 ⑤郵便番号・住所
⑥電話番号 ⑦メールアドレス ⑧参加希望講座名とコード ⑨職業 ⑩申込理由

※実施内容は、中止・変更となる場合がございます。予めご了承ください。

お申込みはこちら



<お問い合わせ先>

尚綱学院大学地域連携交流プラザ 名取市杜せきのした5-3-1（イオンモール名取あおばコート3階）

電話：022-381-1490（受付時間10:30～18:30）／FAX：022-381-1491／E-mail：kouza@shokei.ac.jp